

# 2019年度事業計画書

(2019年4月1日～2020年3月31日)

事業目的である行政の政策並びに産業界からの要請のもと、廃棄物の適正処理により、生活環境の保全及び産業の健全な発展に貢献することに努め、2015年度総合経営管理計画に基づき、一層の安全安心な事業推進を図ってまいります。

## 1 廃棄物の最終処分事業

### (1) 廃棄物の適正処理に関する情報公開及び啓発活動の推進

#### ①情報公開の推進

処分場の維持管理記録を中心にホームページを通じて情報公開を推進し、産業廃棄物処理業の優良事業者の認定を継続します。

#### ②啓発活動の推進

豊田スタジアムで開催される「とよた産業フェスタ」へ参加し、廃棄物の最終処分の実態と資源循環を廃棄物の展示やパネル展示にて、より効果的に啓発します。

### (2) 地域環境整備への貢献

#### ①環境美化活動の推進

浸出水処理施設で浄化処理した水の放流先である御船川の草刈りを行うとともに、処分場の周辺道路のゴミ拾いを春と秋の環境美化の日に合わせて行います。

### (3) 適正な最終処分場運営管理の推進

#### ①廃棄物品質管理の推進

廃棄物の定期検査を適正かつ着実にを行い、品質管理を推進するとともに、浸出水処理施設への処理負荷を軽減するため、ほう素新受入基準の運用を展開します。

#### ②浸出水処理施設の長寿命化のための計画的な保全の継続

施設の老朽化に伴う将来リスクを軽減するため、計画的な予防保全を継続していきます。

#### ③安全かつ効率的な埋立の実施

廃棄物の受入量及び種類の変化に応じた埋立計画を策定し、安全かつ効率的な埋立を実施します。

### (4) 中長期的経営活動

#### ①廃棄物受入計画及び埋立計画の策定

豊田市及びみよし市から発生する廃棄物の最終処分を2034年度まで行うため、今後の廃棄物受入計画及び埋立計画を策定します。

#### ②浸出水処理施設増強対策の検討

施設稼働27年を経過する設備・機械の老朽化対応、浸出水の水質変化及び法規制改正による処理負荷の改善、並びに埋立地洗い流しによる安定化促進のため、処理能力の増強対策を継続して検討します。

### (5) 地域環境保全の推進

#### ①環境モニタリングによる継続監視

水質、大気汚染、騒音、悪臭調査による環境影響評価の継続的監視を行います。

## 2 循環型社会推進事業

### (1) 豊田市緑のリサイクルセンター受託事業

#### ①生産管理システムの展開

体系化した生産管理システムを展開し、迅速な需給対策を行うとともに、生産設備・機器の設備保全を計画的に推進します。

#### ②包括的運転維持管理の推進

3年間の包括的運転維持管理業務委託の最終年になります。3年間の総括を行い、重点実施事項及び改善事項を豊田市へ提案し、より一層利用しやすい施設を目指します。